

樹木漫画

新・リン子の絵日記 2



作 平田 美紗子



発行 林野庁 林野図書資料館

はじめに

樹木漫画「リン子の絵日記」第三弾

今回は雄大な大地が広がる北海道を舞台にお届けします

北海道でしか見られない木

北海道ならではの木と人の歴史

木を生活に取り入れてきたアイヌ文化

北海道の様々な木のお話しを通して

木の新たな一面を知ったら

きっともっと 木が面白くなって

もっともっと 木のことを知りたくなるはず





新・リン子の絵日記2

目次

トドマツ	4
エゾマツ	5
アオダモ	6
オヒョウ	7
アカエゾマツ	8
エゾヤマザクラ	9
ナナカマド	10
カラマツ	11
ミズナラ	12
ハルニレ	13
シナノキ	14
ハンノキ	15
カツラ	16
イチイ	17

作品は随時増えます♪

トドマツ

マツ科
モミ属
樹高 30m

リン子の絵日記

トドマツ



わくわく本物の木のツリーー！
ももみもももみももみ

北海道のモミといえはトドマツ。

葉先がやわらかく枝が上を向くトドマツはツリーに最適だね。

なんかすっきりみかんみたいな香りがする！

トドマツからはアロマオイルが取り出せるの

冬の乾燥した空気をきれいにしてくれるよ。



寒さに強く、少ない光でも成長できるトドマツは北海道の森からのおくりもの。



樹皮も白っぽい灰色できれい

材も白くてきれいなんだ。

軽く柔らかくて加工しやすいから建築材などとして重宝されていたよ。

春

雌花は前年の枝につく



完全に熟した松ぼっくりは種子を飛ばしてバラバラになり芯だけを残す

種子



冬

冬芽は松ヤニに覆われる



雌花

雄花

夏

受粉した雌花は成熟して暗紫色になる葉の先は二つに分かれ裏には2本の白線が目立つ

エゾマツ

マツ科
トウヒ属
樹高 30~40m

リン子・絵日記

見^みてみて木^きが一^{いっ}列^{れつ}に並^{なら}んでい^いるよ!

今日^{けふ}は
登山^{とんざん}に
来^きていま^ます。

あれは
エゾマツの
倒^{たふ}木^ぎ更新^{かふしん}だ
ね

エゾマツの種^{たね}や幼^{おと}木^ぎは
菌^{かび}にと^とも弱^{よわ}いから

木^きの上^{うへ}に
とどけ~
(種)

運^はんよく
倒^{たふ}れた
木^きの上^{うへ}に
落^おちた種^{たね}だけ
が生^なき残^{のこ}るんだ。

成長^{せいちょう}して根^ね元^{もと}の
木^きがな^なくなると
空^{そら}洞^{あな}ができて
「根^ねあがり」に
なるこ^ことも
あるよ。

エゾマツは成長^{せいちょう}が遅^{おそ}く、苗^{かえぎ}木^ぎを育^{そだ}てるのに6年^{ねん}も
かか^かるうえ、霜^{しも}や病^{びょう}害^{がい}虫^{ちゅう}に弱^{よわ}いこと^{こと}から、造^{ぞう}林^{りん}が
難^{むづ}しく数^{かず}が減^へってき^きた。

しか^{しか}し「北^{ほく}海^{かい}道^{どう}の木^き」
とし^{とし}て親^{おや}しま^まれ、
材^{ざい}とし^{とし}ても
優^よれたエゾマツ
を回^{かえ}復^{ふく}させよ^うと
様^{よう}々^々な取^と組^{くみ}み^みが
進^{すす}めら^られてい^いるよ。

エゾマツは
40mにも育^{そだ}つ
森^{もり}のシンボ^ぼルだ

未^あ来^{らい}に残^{のこ}
していき
たいね

あ!
クマゲラだ。

コンテナ苗^{かえぎ}での成^{せい}長^{ちやう}試^し験^{けん}

春

雌^メ花^{はな}は前^{まえ}年^{ねん}の
枝^{えだ}先^{さき}につく

雌^メ花^{はな}

秋

完^{かん}全^{ぜん}に熟^{じやく}した
松^{しょう}ぼ^ぼっ^っくりは
枝^{えだ}先^{さき}に
垂^たれ下^{くだ}がる

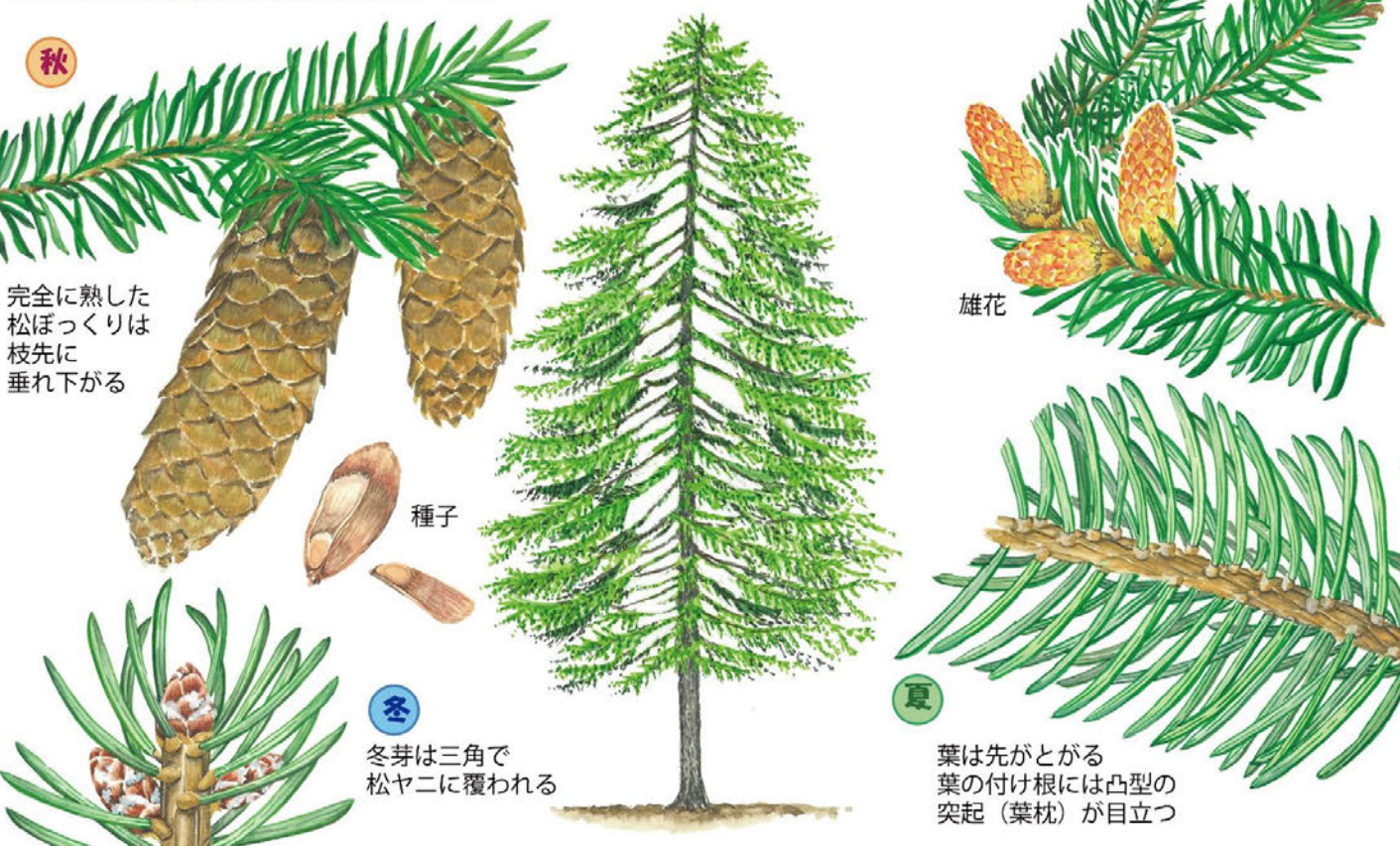
種^{たね}子^こ

冬

冬^{ふゆ}芽^めは三^{さん}角^{かく}で
松^{しょう}ヤ^やニ^にに覆^{おほ}われ^る

夏

葉^はは先^{さき}がと^とがる
葉^はの付^つけ根^ねには凸^{こぼ}型^{けい}の
突^と起^き (葉^は枕^{まくら}) が目^め立^たつ



アオダモ

モクセイ科
トネリコ属
樹高 10 ~ 15m

春

真っ白な花が
雪が積もったように咲く

リン子の絵日記

アオダモ

おじいちゃん
何して
いるの？

これはな、
ワシが初めて
もらった給料で
買ったアオダモの
バットじゃ。

多くはセンノキやヤチダモじゃったが、
バット材として最適なのはアオダモじゃ。
じゃった。

特に雪が少なく寒さが厳しい
日高や阿寒のアオダモは
最高級なのじゃ。



アオダモ植樹祭
数十年後、北海道が再び
「バット王国」となる
かもしれないの。

はははは...
まあのお
大事にしてきたから
ピカピカなんだね。
補欠でほとんど
打てていない
からよね。

しかし天然のアオダモは
成長するまで60年もかかる。
次第にアオダモの木はなくなっていくた。



アオダモバットは粘りがあって割れにくく、軽量で
振りやすい。そのため長年プロ選手に愛用されてきた。

夏 実ができてはじめる



両性花

雄花

秋



種子

熟した種子は風に乗って
散布される
数年に一度豊作になる

冬

冬芽

